

## ☆今月の内容

### ●トピックス&お知らせ

- ・愛知県知事の年頭所感 — 新春を迎えて
- ・「知の拠点あいち重点研究プロジェクト（I期）」成果普及セミナー「未来を切り拓くウェアラブルデバイス」の参加者を募集します！
- ・「知の拠点あいち重点研究プロジェクト（I期）」の成果を活用し、体にかかる圧力が計測可能な衣類や車椅子を開発しました
- ・「技術経営革新セミナー」を開催します！
- ・産業技術センター職員の開発事例が表彰されました

### ●技術紹介

- ・花酵母を用いた柿米酢の開発について
- ・繊維ロープの引張試験について
- ・セルロースナノファイバー（CNF）の開発と技術支援について

## 《トピックス&お知らせ》

### ◆ 愛知県知事の年頭所感 — 新春を迎えて

あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様方にとりまして、素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、リニア中央新幹線の本格工事が愛知県内で着工され、愛知を拠点に開発が進むMRJの米国での飛行試験がスタートするなど、日本の未来を創るプロジェクトが、またひとつ大きく前進した年となりました。

そして、アジア競技大会の2026年愛知・名古屋での開催が決定し、また、全国初の有料道路コンセッションや公道を使った本格的な自動走行の実証実験も始まるなど、新たな取組に果敢に挑戦し、着実に成果を挙げた1年となりました。

今年も、こうした取組を発展させるとともに、新たな取組に積極的にチャレンジし、愛知の産業力、経済力、文化力、人財力、地域力を更に高め、愛知の可能性を大きく広げる1年としてまいります。

また、“Heart” of JAPAN ~Technology & Tradition をキーワードに、産業観光や武将観光、さらには、昨年末、ユネスコ無形文化遺産に全国最多の5件が登録された日本一の山車からくりで代表される歴史・伝統文化など、愛知の魅力の創造・発信と外国人観光客の更なる誘客に取り組むとともに、伊勢志摩サミットで培った、愛知・名古屋のプレゼンスと国際的なネットワークを活かし、積極的に国際交流を進めてまいります。

こうした取組以外にも、あいち健康の森を拠点に、認知症に理解の深いまちづくりの先進的なモデルを目指す「オレンジタウン構想」に着手するほか、引き続き、医療・福祉の充実、教育・人づくり、地震津波対策や交通安全対策、「環境首都あいち」に向けた取組、地方分権や行財政改革の推進、東三河地域の振興にもしっかりと取り組み、愛知の総合力に更なる厚みを増してまいります。

今年も、「日本一元気な愛知」と「すべての人が輝く愛知」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成29年元旦

愛知県知事 大村秀章



## ◆ 「知の拠点あいち重点研究プロジェクト(I期)」成果普及セミナー 「未来を切り拓くウェアラブルデバイス」の参加者を募集します！

愛知県では、「知の拠点あいち重点研究プロジェクト(I期)」で創出された成果を有効活用して地域の産業振興を図るため、成果の普及や技術移転、成果を活用した企業の製品開発支援などを行っています。

このうち「超早期診断技術開発プロジェクト」において、名古屋大学の間瀬健二教授の研究グループは、圧力や伸縮を検出できる布センサを開発しました。本技術は、行動や活動の計測が期待されるウェアラブルデバイスとして様々な場面で活用される可能性を秘めています。

そこで、この分野の最新の開発動向や「知の拠点あいち重点研究プロジェクト(I期)」の研究事例、さらには今後の展開について紹介し、次世代のモノづくりに資するセミナーを開催します。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】平成29年2月2日(木) 13:30~16:45

【場所】ウインクあいち 15階 (公財) 科学技術交流財団 研究交流センター

(名古屋市中村区名駅4-4-38)

### 【内容】

- (1)「ウェアラブルデバイスの可能性」  
神戸大学大学院 教授 塚本昌彦氏
- (2)事例紹介①「布圧力センサを用いた車椅子用褥瘡予防支援システムの研究開発」  
名古屋大学大学院 教授 間瀬健二氏
- (3)事例紹介②「布センサで構成した体圧計測ウェアを用いた離床時褥瘡予防ケア支援」  
名古屋大学大学院 助教 榎堀優氏
- (4)事例紹介③「織物状センサシリーズ」  
(株) 植屋 水野寛隆氏
- (5)事例紹介④「織物の形状とセンサ化の可能性」  
あいち産業科学技術総合センター  
尾張繊維技術センター 島上祐樹
- (6)パネルディスカッション  
「ウェアラブルデバイスの未来について」

【定員】40名(先着順・無料)

【申込方法】下記URLから申込書をダウンロードし、FAX又はE-mailでお申込みください。

【申込期限】平成29年1月27日(金)

●申込み方法等詳しくは <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/acist/h290110-p3seminar.html>

●申込み・問合せ先 あいち産業科学技術総合センター 「知の拠点あいち重点研究プロジェクト」成果活用プラザ  
電話：0561-76-8306 FAX：0561-76-8309 E-mail：acist@pref.aichi.lg.jp

## ◆ 「知の拠点あいち重点研究プロジェクト(I期)」の成果を活用し、 体にかかる圧力が計測可能な衣類や車椅子を開発しました

愛知県では、「知の拠点あいち重点研究プロジェクト(I期)」の「超早期診断技術開発プロジェクト」において「究極のウェアラブルシステムの開発」として、圧力や伸縮を検出できる布センサを開発し、医療・介護の現場で活用できる製品開発に取り組んできました。

本プロジェクトの成果を活用し、場所や時を選ばず体にかかる圧力を計測できる衣服や圧力分布から使用者の現在の姿勢を推定できる車椅子を開発し、1月18日(水)から20日(金)まで東京ビッグサイトにおいて開催された「第3回ウェアラブル EXPO」に出展しました。

開発品は、様々な状況で要介護者の体にかかる圧力が計測可能となるため、継続的な褥瘡予防への応用が期待されます。



衣類型圧力センサと車椅子組み込み型圧力センサ

●詳しくは <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/acist/h290111-p3seika.html>

●問合せ先 尾張繊維技術センター 素材開発室 電話：0586-45-7871 FAX：0586-45-0509

## ◆ 「技術経営革新セミナー」を開催します！

産業技術センターでは、ものづくり企業の製品開発を支援するため、技術経営（MOT）にスポットを当てた“技術経営革新セミナー”を開催します。

近年、中小ものづくり企業を取巻く経営環境は厳しさを増していることから、大手企業の下請業務のみに頼ることなく、自社技術を活かしたオリジナル製品の開発や新規事業の開拓が求められつつあるところ。下請体質から脱し、自社独自の取組みを進めるためには、自社の強み（技術）や経営資源、顧客ニーズの正確な把握と、戦略的かつ合理的な事業構築やブランド化を行うことが必要となります。

このセミナーでは、製品開発におけるプランニ

ング、設計・開発、試作・評価、知財活用及び工場運営といった一貫したマネジメントの考え方について、国際経営技術研究所の石川君雄氏から、新事業開発に不可欠な「売れる」ための製品企画・開発、販路開拓について、オフィス・HANDOの寺田久美氏から、それぞれご講演いただきます。

ぜひ、ご参加ください。

【日時】平成29年2月23日（木）13:30～15:45

【場所】産業技術センター 1階 講堂

（刈谷市恩田町1-157-1）

【定員】60名（先着順・無料）

【申込方法】下記URLから申込書をダウンロードし、郵送、FAX又はE-mailでお申込みください。

【申込期限】平成29年2月16日（木）

●申込み方法等詳しくは <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/acist/h290117-motseminar.html>

●申込み・問合せ先 産業技術センター 総合技術支援・人材育成室

〒448-0013 刈谷市恩田町1-157-1 電話：0566-24-1841

FAX：0566-22-8033 E-mail：acist-sangyou@pref.aichi.lg.jp

## ◆ 産業技術センター職員の開発事例が表彰されました

産業技術センターの研究職員が、地域企業と共同して、リサイクル・省資源、環境対策など、資源循環に取り組んだ開発事例2件が、平成28年12月14日に名古屋市工業研究所で開催された「第21回資源循環型ものづくりシンポジウム」において表彰されました。

《受賞①》名古屋商工会議所会頭賞

【事例名】ガラス繊維強化プラスチック廃材の機能性線材化技術



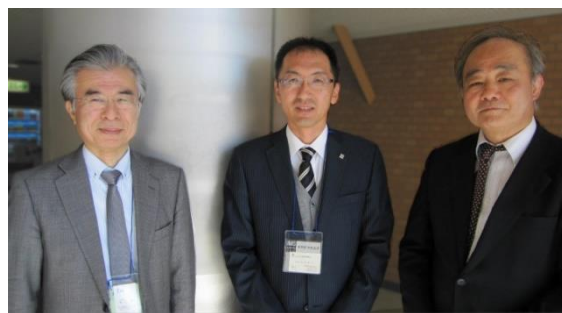
受賞①福田主任研究員（右）と（株）イハラ合成：伊原氏

【受賞者】化学材料室 福田徳生主任研究員、株式会社イハラ合成

《受賞②》資源循環型ものづくりシンポジウム事例研究発表審査委員会委員長賞

【事例名】未利用資源分離回収装置の開発

【受賞者】環境材料室 森川豊主任研究員、伊藤雅子主任研究員、株式会社エイゼン、株式会社アイム、有限会社竹内総合研究所



受賞②（左から）（株）アイム：桜井氏、（株）エイゼン：永田氏、（有）竹内総合研究所：竹内氏

●問合せ先 産業技術センター 化学材料室、環境材料室  
電話：0566-24-1841 FAX：0566-22-8033